

呼吸器外科学

担当指導医師

●本院

教授：齊藤 元
特任教授：出口 博之
准教授：友安 信
講師：重枝 弥
助教：兼古 由香

学修方針（実習概要等）：

実習期間中、教員とともに入院および手術予定患者の準主治医として診療にあたる。

教育成果（アウトカム）：

呼吸器病に関わる治療法、特に呼吸器外科学的手法についての知識を整理する。
解剖学や呼吸生理学、腫瘍学との関連を理解し、外科的手技に触れる機会を通じて呼吸器外科における治療方針の立案能力を会得し、医療のプロフェッショナルに要求されるコミュニケーションスキルの向上と協調性の重要性を認識できる。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,6,7,8）

到達目標（SBOs）：

1. 臨床検査法・手術適応・手術方法・局所解剖を理解し、説明できる。
2. 患者のプライバシー等に配慮し、第4・5学年が準備したプレゼンテーションの指導を行うことができる。
3. 医師として必要な総合的臨床能力の一つとしての、外科基本手技である縫合ができる。
4. 外科におけるチーム医療や、適切な医療連携、コミュニケーションを理解し、指導医とともに病棟回診などで実践できる。

実習内容：

1. 術前諸検査の内容を理解し、個々の患者の全体像の把握と、耐術能や腫瘍学的手術適応および術式の立案を一連の思考作業としてトレーニングする。
2. 患者・家族への手術の説明に立合い、インフォームド・コンセントのあり方を学ぶ。
3. 手術および術後集中治療に参加し、それぞれの領域における手術手技・術後管理の特徴を学ぶ。
4. 病室においてリハビリテーションを進め、手術の効果を評価する。
5. 退院時の患者指導および紹介医への返書作成を学ぶ。
6. 第4・5学年の臨床実習に対して指導的立場となり学習の手伝いをする。

注意：

Webclass に実践内容のポートフォリオを入力すること。内容を教員が評価し、随時フィードバックする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
手術用機械	胸腔鏡ビデオシステム	1	胸腔鏡手術に用いる。
手術用機械	気管支ファイバースコープ	1	術中・術後管理時に気管支内の病変の観察を行う。
手術用機械	パルスオキシメーター	1	術中・術後管理時または外来診察時に経皮的酸素飽和度を測定
手術用機械	VISER 腹腔・胸腔ビデオスコープ (LTETVPE VP)	1	臨床実習手術見学
診断用機械	胸腹部エコー装置	1	腹部疾患の診断およびエコーガイド下穿刺に用いる。
診断用機械	人工呼吸器	1	呼吸管理に用いる。
視聴覚用機械	外付け HDD (HDQL8TU3R5J)	1	臨床実習および講義に使用
視聴覚用機械	ノートパソコン(MousePro-NB370SS-1410)	1	臨床実習における症例検討
実習用機械	HD 対応手術映像レコーダー (ADMENIC HVR NTSC)	1	臨床実習における手術供覧
その他	シュレッダー (V231S)	1	講義・臨床実習にける個人情報管理
その他	複合機 (MP C3003 SPF)	1	臨床実習における症例検討